



金澤北ロータリークラブ



ROTARY CLUB OF KANAZAWA-NORTH

『まちづくりは人づくり』 vol.2

米澤修一



■ロマンチック体験・浅野川園遊会

「金沢・浅野川園遊会」は今年で19回目を迎える。この祭りは、次に掲げたコンセプトを柱として開催されている。①街おこし②環境保全③芸事の保

存④市民の連帯⑤経済の活性化。美しい浅野川の流れ、緑の卯辰山を背にした自然の舞台で、界限に息づく伝統芸能・文化を一堂にしたパノラマページェントで、今では二日間で18万人を超す来場者となり、金沢に春の訪れを告げるお祭りとして定着している。

メインの川面に迫り出した浮き舞台では、泉鏡花の小説のモデルになった水芸や東、主計町両茶屋街の芸妓衆による踊り、仕舞い、箏曲などの伝統芸能が演じられ、桜満開の河川敷では界限老舗料亭などによる花見茶屋が軒を連ねている。界限では茶席、聞香席が人気を呼び、そぞろ歩きの歩行者天国がお祭りの楽しさを増幅させている。

お祭りにも強いこだわりがあり①金沢の文化を伝えるもの②市民によるボランティアでの実施③浅野川界限の自然、文化を愛し育む人なら誰でも運営に参加できるという主旨が貫かれている。ここまで続き大きくなってきたのは、祭りの評価と合わせて企画から運営、実施にいたるまで市民の

手づくりだからといえる。市民運動が根づきにくいといわれる金沢にあって、地元住民のみならず市全域、隣市、隣県から集まるボランティアの方々の活動を見るにつけまさに「まちづくりは人づくり」であるという感を強めている。

■まちづくりと園遊会の波及

浅野川園遊会を含めたまちづくりの成果を列記してみた。

- ◆界限住民のまちづくりの理解や景観意識の高揚
- ◆伝統芸能関係への入門増加や後継者が継いできた
- ◆地域住民という枠に捕らわれず、地域を愛する金沢全域からの参加でユニークな団体組織が出来た
- ◆行政による文化施設、公園、道路、河川敷などへのインフラ整備が進んだ
- ◆茶屋街周辺を中心に界限の店舗出店が目立つようになり活気があふれて来た

何よりも大切なのはこの界限が地域の人のみならず、金沢にとって素晴らしい財産であることが広く理解してもらえるようになった事ではなかろうか。

おわりに当クラブはじめ会員の皆様方には多大なご支援、ご協力を頂いていますこと感謝し厚く御礼申し上げます。



「私の仕事に思う」

二塚長生

友禪染は江戸時代中期に完成し、創始者は京都の扇絵師宮崎友禪斎と伝えられている。

当時の江戸の町は超過密都市化して住空間に対する意識も強まり、内へ内へ入り込む世界を求めるように競い合うのである。その結果、盆栽は好まれるし、金工職人は究極の細工物に凝る。狭い空間を出来る限り工夫し生かす日本人の感性が大いに発揮された時代で、時間の流れが急激に早まり、やがては「流行」が生まれるのである。これまでの古着売買のシステムから自分好みの「誂え物」を、求める風潮の世に移行し、友禪染は民衆の人気を得て爆発的に発達し、今日に及んでいる。

古くは金沢の地でも、梅染があり、模様染のお国染があり、紺屋の経済力は美術工芸文化の高い腕の確かな職人達を育て、友禪斎が晩年当地金沢に来る礎が築かれて他の地に見られない洗練された空間美の模様染が生み出されていくのである。

もち糊を使い、より繊細な模様染を染め上げる糸目糊置きが最大の特徴と云える。それは糊を筒に入れて指で押し出すように生地置く。筒は円錐状で柿渋を引いた和紙で出来ていて筒先の内側に中金を入れ表側に先金を付ける。先金の穴の大小と糊を絞り出す指圧力の加減で好みの糊置きをする。

糊置き後、「地入れ」と云って生地に糊を密着させる。まず、霧吹きで生地を濡らし裏から素早く熱をあて乾かし、より安定した状態にするため豆

汁とふのりの混合液を刷毛で引く。豆汁は大豆の絞り汁で空気に触れることで、その蛋白質が凝固する性質があり、そのため染液の吸収を遅らせて染めむらをも同時に防ぐ作用をする。この行程が染め上がりの良し悪しを左右するので細心の注意を要する。

防染糊は云わば防波堤の役目をして侵入してくる染液を塞ぎ止めるのである。しかし、生地奥深く食い付いていないと不あがりを起こしてスッキリと白く染め上がらない。いかにして染液の侵入

を防ぐか、先人達は大変な試行錯誤を重ね色々と防染法を編み出してきた。天平の三纈はその代表的技法で、二つ折りにした布地を二枚の版木に挟む「夾纈」。蠟液を版で押し筆で描く「蠟纈」。糸で括る「纈纈」である。又型紙を使う技法等もある。それらを通して優美繊細な友禪染の原動力として生み出された糸目糊置き技法は画期的であり江戸時代民衆の独自文化のエネルギーの賜物でもある。

現在友禪染が盛んに生産されている地は、

東京、京都、金沢で、それぞれ「東京友禪」、「京友禪」、「加賀友禪」と呼ばれ古来からの伝統技法を守りつつ新しい材料や感覚を取り入れて制作しているのが現状で、製法的にはほとんど差は無いと云って良い。生活環境が著しく変化している今日、将来の「きもの」の世界を考えると少なからず不安な気持ちになる。



友禪着物「夜の滝」

2005～2006年度 委員会名簿

委 員 会	委員長	副委員長	委 員
社 会 奉 仕	磯野(進)	小 泉	田中、中田(秀)、橋本
環 境 保 全	坂 口	中村(實)	奥田、森
地 域 開 発	本 岡	(本 岡)	卯野、深山
新世代会議	上 田	高 島	
国 際 奉 仕	沢 田	中田(龍)	高岡、汐井
ロータリー財団	辻	磯野(洋)	
米山記念奨学会	魚 住	玉 田	
職 業 奉 仕	横 井	佐 賀	畠、木下、銭亀、坪田
ク ラ ブ 奉 仕	佃	米 澤	
例 会	吉 井	山 上	的場、馬場、堀本
会 員 選 考	小間井	安 宅	滝、渡邊、大澤
企 画	川 面	高 島	上野、木村(功)
広 報	中村(芳)	乙 村	木村(丹)、松平
修 練	長谷川	(長谷川)	越野、大村、俵、合田
親 睦	竹 中	長 原	二塚、桜田
友 好	松 本	飯 田	越田、岡田、内堀、西方

第1531回例会

3月17日(木) 雨 12:30～13:30 松魚亭

1. 講 話

金沢社会福祉協議会 会長 奥 清氏
「生き方、上手に」

2. 出 欠

出席 38名 欠席 32名 出席率 54.29%
ビジター 4名

3. 来訪者(敬称略)

金 沢 RC 長田武嗣
金沢東 RC 真柄達郎
金沢西 RC 和田英夫
金沢南 RC 水野義男

ニコニコボックス

上田君 本日の講師、奥会長さんをお迎えして
濱井君 金沢社会福祉協議会々長の奥清様を講師にお迎
えして。本日は宜しくお願い致します。
的場君 奥金沢社会福祉協議会々長の生涯教育のお話に
期待します。
合計 12,000円(累計 1,176,000円)

第1532回例会

3月31日(木) 晴れ 12:30～13:30 松魚亭

1. 講 話

鶴来高校 教諭 中川賢司氏
「学校現場への競争原理の導入と二極化」

2. 出 欠

出席 40名 欠席 30名 出席率 57.14%
ビジター 6名

3. 来訪者(敬称略)

金沢東 RC 相羽泰彦
金沢西 RC 川口征弘 若林昌憲 坂井美紀夫
宇都宮道夫
金沢南 RC 中谷啓一

ニコニコボックス

上田君 ご多忙な中、講話をお願いしました中川先生に
感謝して。
濱井君 講師に鶴来高校教諭の中川賢司氏をお迎えして。
的場君 鶴来高校中川賢司先生をお迎えして。現役の教
師の立場からのお話に期待します。
渡邊君 ヒヤカシ電話ばかりで困りました。
合計 14,000円(累計 1,190,000円)

2月クラブ日誌

10日(木) 2月定例理事会 松魚亭にて
23日(水) ロータリー100周年を祝う会
石川県立音楽堂にて

3月クラブ日誌

10日(木) 3月定例理事会 松魚亭にて



会 長：上田 忠信 S A A：汐井 俊彦
会長エレクト：高島 菊丸 会 計：木村 功一
副 会 長：米沢 真二 広報委員長：二塚 長生
幹 事：濱井 弘利 会 員 数：70名
副 幹 事：勝田 浩之 クラブ設立：昭和48年10月3日

例 会 日：木曜日 12:30～13:30
例 会 場：松魚亭 金沢市東山1-38-30
TEL<076>252-2271 FAX252-2273
事 務 局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内
TEL<076>222-2525 FAX224-2882
E-mail:k-kitarc@aqu.hokuriku.ne.jp